

STP教材「絶縁低下箇所調査法」

STPとは

Standardized Training Package: 標準訓練パッケージ
ICAO*1で標準化された開発手法で制作した教材一式



教材:教科書、視聴覚教材、教官ガイド、修了テスト等

*1 International Civil Aviation Organization: 国際民間航空機関

特徴

- ✓ 航空保安大学校が開発
- ✓ ICAOに登録された教材
- ✓ 保守作業時間を大幅短縮
- ✓ 航空局航空灯火電気技術職員の考案



Aeronautical Safety College - JAPAN

開発経緯

- ✓ 人も時間も必要な従来方法への改善要望
- ✓ LCCの台頭・深夜便の運航などによる作業可能時間の限定
- ✓ 日本メーカーが微弱直流電流の測定可能なクランプ型電流計を開発



第1章の目次

1 機材の操作及び準備

- 1.1 航空灯火回路の絶縁抵抗を測定する
- 1.2 絶縁抵抗値が基準に達していないことを確認する
- 1.3 直流耐圧試験器を設置する
- 1.4 印加電圧値を計算する
- 1.5 設定箇所に直流クランプ型電流計と治具を設置する
- 1.6 直流電圧を測定対象回路へ印加する
- 1.7 選んだ測定箇所で電流を測定する

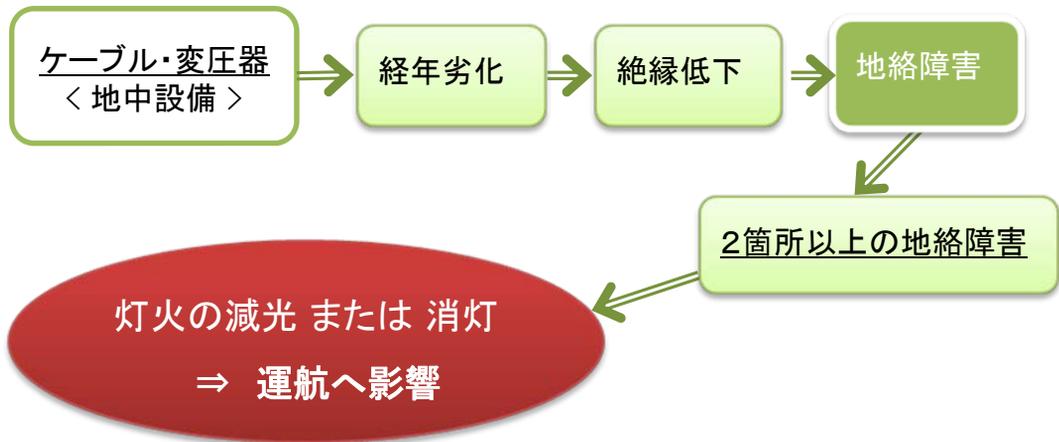


航空灯火回路の地絡障害

航空灯火： 空港に設置された滑走路灯、誘導路灯など

★ 回路の構成： 灯器 + ケーブルと変圧器 + 定電流発生装置

- ・ 回路長 ⇒ 滑走路の内外10Km前後
- ・ 作業 ⇒ 運航のない深夜・早朝の時間帯



絶縁低下箇所の調査

◎ 復旧時間 = 修理作業 <短時間> + **障害箇所の調査 <長時間>**



◆ ICAO Home Page

⇒ <http://www.icao.int/safety/TrainairPlus/Pages/default.aspx>

◆ 問い合わせ先

⇒ 航空保安大学校 特別研修科 TEL 072-458-3928